

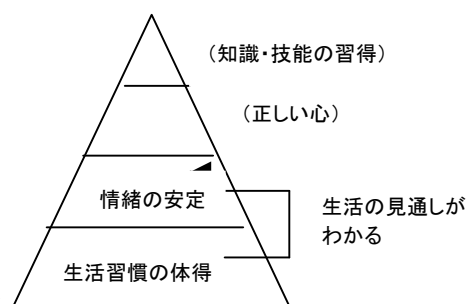
9月のことば～ 生活の見通し②

秋のはじまり。仕事はまず落ち着いて集中し、的確に熱心に…
…これが晩秋の収穫に至る…というイメージで臨みたきもの。

その秋のはじまりにできることは、生活習慣を整えることと、生活の見通しが分る工夫を
すること。

生活の見通しは情緒の安定につながる

(右図参照) →



生活の見通しが分る工夫 (その1)

生活の空間は「寝室、食事、洗面・風呂、集中して何かをする所、リラックス、遊び」と大きく分れますが、部屋の雰囲気や物の置き方等を考えて、子どもでも
分りやすくする必要があります。

- ・ つまり、「ここは静かにする所」「ここは食べ物を持ってきたらあかん所」等。大人に一々言われてやらされるのではなく、大人は補助するものの、子どもが自ら分ってできるようにして、いつもの所にいつもの物があるように配慮すると、「お風呂はタオルを並べた順番や」「食卓の席は決まってて、箸を並べてからお母さんの料理をこの敷物の上に置くんや… そして食べるんや」という風になります。
- ・ 注意すべくは、(1) 大人がまずやって見せること、(2) 大人が子どもの小さなルールを無神経に破らないことと、思われます。

「お風呂はタオルの順番やったのに」「食事の時間、席は決まっていたのに」「遊べるのは～時までだったのに」等、その日の大人の都合で変えると、結局は言われるまでしない、監視されないと勉強しない、集中できる時間が分らないから手っ取り早い“戦いごっこ”しかしない子となり…思春期に「うざい！」の文言が…。

逆に家庭と保育園が揃って、子ども達に生活の見通しがつくように配慮したならば、情緒が安定し、落ち着いて物事を考えたり、人の話を聞ける子となり、そういう人が社会生活を営み、仕事をするならば、レベルの高い地域になるのではないのでしょうか。

そう言えば、^{すすき}薄に囲まれた日本建築の家は^{すだれ}簾、^{たたくき}三和土、^{しょうじ}障子、^{えんがわ}縁側、^ま～の間、^{ざぶとん}座布団、^{しきもの}敷物、^{ついで}布、衝立て等と生活の見通しが分る工夫だらけ… 静かに落ち着いて虫の音、月の光を味わえたのでないか。

〔 十五夜 ～ ポピュラーに楽しむ月
十三夜 ～ つうが味わう月 〕

正しい心



この土台が崩れては
なりません。

情緒の安定

生活習慣